

4 授業評価

(1) 目的 生徒からの授業評価を参考にして授業改善を行う。また、本校のSGHの取組である「授業のシンカ」が進んでいるかどうかの指標の一つとする。

(2) 日時 第1回：令和元(2019)年6月、第2回：令和元年11月

(3) 実施方法 マークシートによる全教科一斉調査

(4) 評価方法 各教科目ごとに以下の項目を5段階（5～1）で評価

- ①生徒の意欲的な取組、
- ②授業のわかりやすさ、
- ③学力の向上が実感できる、
- ④授業の満足度

5(はい)、4(どちらかといえば、はい)、3(どちらでもない)、2(どちらかといえば、いいえ)、1(いいえ)

5(非常に満足)、4(満足である)、3(どちらでもない)、2(不満である)、1(非常に不満)

(5) 評価の分析

<各教科目の授業評価>

- ・各授業者が自らの授業改善を図る。
- ・各学年とも各教科目の5段階の分布から平均値（加重平均）を算出する。

例) 5(20%), 4(30%), 3(40%), 2(10%), 1(0%)であった場合

→加重平均 $(5 \times 0.2 + 4 \times 0.3 + 3 \times 0.4 + 2 \times 0.1 = 3.6)$

<全体の分析>

- ・各学年、各項目ごとに上記の平均値の平均（総平均）をとって比較する。

(6) 分析結果の概要

①生徒の意欲的な取組

中高共に4.0をほぼ全ての学年が超え、全体として意欲は高いと言える。また、平均は昨年の4.2から今年度は4.3と上昇した。

②授業のわかりやすさ

全体平均は4.1と昨年と同様の数値でほぼわかりやすい授業が行われていると言える。理系ではやや低い傾向があるが、高2理系では昨年度第2回では3.6であったが、今年度は、3.7→3.9と上昇している。更にアクティブラーニング等を取り入れてわかりやすさを追求しながら今後に期待したい。

③学力の向上が実感できる

第1回の平均は4.0と昨年の3.9を上回ったが、第2回で3.9に戻ってしまった。生徒が向上を実感できる工夫が望まれる。ただ理系では、高2が3.6→3.7、高3理Iで4.1→4.2と若干の上昇が見られた。

④授業の満足度

平均4.1で昨年と同じ数値であったが、2年文系は昨年第2回3.7→4.1と0.4ポイント上昇した。理系の数値も、2年理系が第1回3.7→第2回3.9、理I4.2→4.3、理II4.0→4.1と上昇している。学力の向上の実感等を通して満足度も更に高めていきたい。

